

B 装備関係



目 次

1	防災ヘリコプター「しらかみ」の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	B－1
2	主要装備資機材の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	2

1 防災ヘリコプター『しらかみ』の概要

機 体	全 長 (ローター含む)	1 7.1 m
	胴 体 長	1 4.0 m
	全 幅 (胴 体)	2.8 m
	全 高	4.6 m
	ロ ー タ ー 径	1 4.0 m
客 室	長 さ	2.3 4 m
	幅	2.4 4 m
	高 さ	1.3 1 m
	床 面 積	4.7 m ²
	容 積	6.2 m ³
基 本 重 量	最 大 離 陸 重 量	5,3 9 8 kg
	空 虚 重 量	3,2 0 7 kg
	有 効 搭 載 量	2,1 9 1 kg
燃 料	標 準 搭 載 量	1,2 5 1 L
エ ン ジ ン	形 式	Pratt&Whitney PT6T-9
	最 大 出 力	1,9 2 8 SHP
	連 続 最 大 出 力	1,8 2 5 SHP
トランスミッション	最 大 離 陸 出 力	1,5 8 4 SHP
	連 続 最 大 出 力	1,5 3 4 SHP
性能 (単位) 離陸重量 kg	5,3 9 8	
巡 航 速 度 (km/h)	2 0 3	
最 大 速 度 (km/h)	2 5 9	
航 続 時 間 2,000ft(h)	2 時 間 2 4 分	

2 主要装備資機材の概要

区分	名 称	仕 様 ・ 用 途	備 考
航	ホイスト装置	ヘリコプターが着陸できない場所において、空中静止状態からヘリコプターと地上間の人員や物資を昇降する目的で取り付けられた装置。 最大許容重量 272kg ケーブル長 75 m	
空	救助用縛帯 (サバイバースリング)	地上・水上にいる要救助者に装着して垂直状態で吊り上げ、機内に收容するための救助具。 運用荷重 205 kg	
救	救助用縛帯 (エバックハーネス)	地上・水上にいる要救助者に装着して水平状態で吊り上げ、機内に收容するための救助具。 運用荷重 205 kg	
用	救助用縛帯 (エンジェルハーネス)	救助活動において、乳幼児を安全に運ぶための救助具。 運用荷重 205 kg 救助対象 身長 100cm 以下 重量 135kg 以下	

区分	名 称	仕 様 ・ 用 途	備 考
航 空 救 助 用	救助用縛帯 (レスキュースリング)	地上・水上にいる要救助者に装着して垂直状態で吊り上げ、機内に收容するための救助具。 使用荷重 500kg	
	救助用縛帯 (ヘリハーネスⅠ型)	地上にいる要救助者に装着して垂直状態で吊り上げ、機内に收容するための救助具 引張強度 12KN (連結ループ1ヶ所)	
	救助用担架 (ヘリタックエアバック)	ヘリコプターが着陸できない場所において、水平状態の要救助者をヘリコプターのホイスト装置で吊り上げ、機内に收容するための救助具。 破断荷重（水平吊り）26KN 破断荷重（垂直吊り）12KN	
	リペリング装置	救助等の目的で空中静止中のヘリコプターから地上に懸垂降下(リペリング)する際、カラビナやロープを接続固定するための装置。 最大許容荷重 154kg	

区分	名 称	仕 様 ・ 用 途	備 考
航 空 救 助 用	誘導ロープ	救助用縛帯、救助用担架等による吊り上げ時、要救助者の揺れや回転を防ぐために使用するロープ。 セミスタティックロープ	
消 火 用	消火バケット装置 (バンビバケット)	バケットをカーゴフックに装備し、水源に浸して給水することができ、放水スイッチを操作して放水する装置。 最大容量 910L(自給式)	
	消火タンク装置 (ファイヤーアタック)	機体胴体下面に装備し、タンクから下方に垂らしたホース先端のポンプを水源に浸して給水、又は消防隊のホースを直接タンクへ結合し給水することができ、タンク底部のドアを開閉して放水する装置。 最大容量 1,420 L (自給式・他給式)	
救 急 用	救急搬送用担架装置	ストレッチャー並びに機体に固定するためのベースプレートからなり、救急患者を搬送するための装置。 (専用のストレッチャーを使用)	

区分	名 称	仕 様 ・ 用 途	備 考
航 空 輸 送 用	カーゴフック装置 (機体吊り下げ装置)	機外に荷物を吊り下げて飛行するための装置。 最大吊り下げ能力 2,268kg	
そ の 他	スノーシュー	雪面に安全に着陸するため、スキッドの下に取り付けて使用する。	
	ヘリコプター・テレビ電送装置	ヘリコプターから撮影した災害現場の映像を県庁等の防災基地に電送するための装置。	
	機外拡声装置	ヘリコプターから、地上の人間に対し必要な放送をするための装置。 出力 1200W	

※ 各資機材の名称欄の () については商品名を記載